

津山市第5次総合計画 第2分科会 第3回 議事要旨

平成27年11月10日(火) 13:30～15:30

津山市役所 第1委員会室

1. 開会

2. 座長あいさつ

(座長) ○前回の会議では真剣なご意見が出て、時間を延長した。

職員が勉強してきたことを、専門家が知恵を出してより良いものにしていくことが、この分科会の役割である。

字句等の訂正ではなく、内容の議論をお願いします。

今日で集約するので、事前に提出した質問の回答について意見をいただきたい。

3. 協議事項

(座長) ○資料1～3について一括して報告いただきたい。

(各担当) 資料に基づき説明

(座長) かなりの量があるので、前回の回答について意見があればお願いします。

立地適正化計画について、都市機能の集積とか再編成化を入れては、としていたがどうか。

(事務局) 88～89ページで、コンパクトなまちづくりに取り組んでいく、としている。第3分科会で検討している。

(委員) 回答2ページの、優秀な人材の輩出とあるが、輩出はいらぬのでは。輩出は市の仕事ではない。高専のことか。

(委員) 3ページの、どうやって津山を売り出すかについて、シティ・プロモーションの仕方が問題。10年後につなぐ方向性がない。企業立地においても、津山分は現状維持的なものになっている。地の利でストーリーがいる。軸となるプロモーションの輪郭がわからない。輪郭を10年の計画に入れていくべき。

(座長) この審議会の委員である以上、中途半端なものは出したくない、というこ

とがある。ブランドをもっと明確にして、アイデンティティを作っていきたいということではないか。

(委員) 朝日新聞の取材で、岡山県のプロモーションのことを聞かれた。あれでは、30代以上にはあまり受けないだろう。また、桃太郎や晴れの国などは県南が対象で、津山はあまり関係ないだろう。県全体のことを考えると、もっと県会議員が県に言わないと駄目だ。

最終的には津山をどうするかだ。津山は小藩だったので、松平は学問に力を入れて、学者を輩出した経過がある。これに200年かかった。だからこの10年も、明確なものがあるのではないか。

(事務局) 委員の皆さんが一番と思われているものが、個別のブランドだ。歴史と文化を生かし、観光と人情で売り出していくのが、シティ・プロモーションだ。開花プログラムの推進方策で示している。総花的になっているが、移住・定住、交流人口について戦略を練っている。ロゴマーク、キャッチコピーなど念頭に置いている。

(座長) その思いは同じだが、どうブレイクダウンするかだ。

(委員) 前回、美作桜について質問があったが、既に素材生産量もトップで、全国的なブランドになっている。それによって、田舎暮らしをしたいと、林業関係者のI J Uターンも増えている。津山市の地理的優位性を生かして、プロモーションしていけばいいのでは。

(座長) 資料2、3について説明願いたい。

(各担当) 資料に基づき説明

(座長) 委員の意見に対する回答について、意見をいただきたい。

(委員) 膨大な量があるが、時間内にできるのか。

(座長) 今日できるところまでやって、積み残しがあれば最後に方法を諮る。

(委員) 上水道について、水道の水質がいいというのは幻想だ。塩素処理をしている以上、発がん性物質ができてしまう。特に小田中が問題だ。活性炭処理を早くすべき。全国の6割が良くなっている。津山は出遅れてしまう。下水道処理は増えていない。合併浄化槽が増えているだけなのに、なぜ下水道の整備なのか。

(事務局) 同じ認識なのだ。小田中を急いでいる。草加部については順次考える。

(座長) 10年間はやらないということか。

- (事務局) 草加部は設備としてはもっている。
- (事務局) 上水道には基準があり、塩素処理は変えられない。草加部は基準内に収まっている間がいいが、そうでないなら10年以内もある。
- (委員) 衆楽園と鶴山公園は、観光振興に入れるべきでは。
近代化鉄道遺産を入れて欲しい。
出雲街道の整備がないのでは。
- (事務局) 公園について、観光に入れるか、今は回答ができない。
近代化鉄道遺産は、魅力向上に含まれているので、文言として入っていないだけである。
- (事務局) 95ページに出雲街道の整備を想定している。検討する。
- (座長) 鉄道遺産も検討するのか。
- (事務局) ありとあらゆる資源が観光資源だ。72ページに、「津山城など」としており、この「など」に全て入っている。
- (座長) できるだけ文言を盛り込めるものにしたい。市民が見るものだから、出せるものは記載すべきではないか。文言を具現化することが必要では。
- (委員) 心配しているのは、これらにかかる費用だ。岡山市でも、施設で400億かかるといっている。結局、公共料金の値上げになるのではないか。選択と集中しないと。最初の5年間で集中すべき。ばら色になっていないか。
- (委員) 新規就農者の窓口がない。相談窓口を開設しないのか。窓口が分かりにくい。
- (事務局) 色々なレベルの相談があり、まず農業振興課が窓口になり、普及センターやJAの3者で連携して対応している。
- (座長) 提案だが、最終までの積み残しは担当部署とやり取りして、座長・副座長に任せていただきたい。
- (事務局) 不完全燃焼ではいけないので、政策調整室が各委員と確認した上で、座長・副座長にお願いしたい。12日までに各委員に照会し、調整後、審議結果報告書を作ることにしたい。
- (事務局) 審議結果報告書案を説明

4.その他

- (座長) 他の分科会と比較して、ボリュームが4倍以上あるということだ。この膨

大な資料は、必ず津山市の部局にとっても将来役に立つ。書けない部分があっても、こういう気持ちのやり取りがあったということが大切である。

5.閉会